

アルミ・ステンレスの精密部品加工なら どんな難題も全力で承ります 「困った時の東亜」へご相談を！

東亜

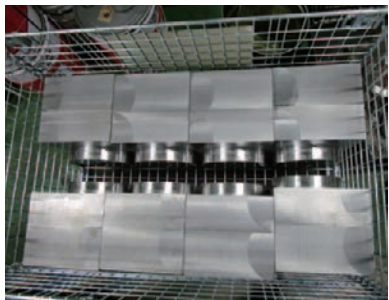
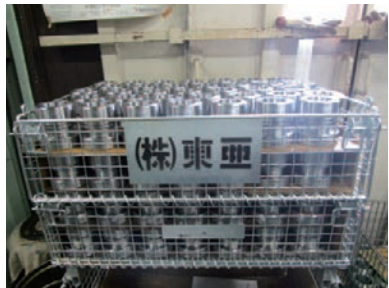
金属加工・精密部品加工を手がける東亜(大田区東六郷、松尾和仁社長、03・3735・6111)は、昭和44年に北品川にてバルブ部品の製造加工業として設立。その後、昭和55年に溶接設備などへ事業規模を拡大した。旋盤加工・フライス加工・シールド工具の加工・特殊溶接溶着の施工をはじめ、製造加工を幅広く受注している。

現在は、バルブ部品の製造加工だけではなく、掘削工具の刃(ビット)の製造加工も得意としており、シベリア開発や英仏海峡(ドーバー海峡)トンネルの施工に使用された掘削機にも、同社のビットが採用された。シベリアの極寒や海中の地盤など劣悪な環境下の作業でも耐えうる製品を手がけたことから、同社に対する高評価が窺える。

業歴46年にわたり培ってきた実績と経験によって裏打ちされた高い技術力や、広い人脈を駆使して、お客様のニーズに幅広く対応し、納期が迫った注文や加工の難しい特殊材質の取扱いまで、どん

な難題にも全力で取組み結果を出す同社に、「加工関係で困った時は必ず東亜が何とかしてくれる」と取引先からの信頼は厚い。

より良い製品を提供するために、設計図面を分析し、松尾社長自ら新しい加工の仕方を提案することもあり、「他社ではできなくても同社なら可能にします。お客様が困っている時こそ、迅速に最適な製品を提供するのが我々の使命です。困った時の東亜なんです」と語る松尾社長の言葉にも、金属加工にかける熱い想いがこもっている。



受注された加工部品が所狭しと並ぶ

金属加工でのお困りごとなら、ぜひご相談ください。「困った時の東亜」が全力で解決を手助けします。



作業風景